

役割・個人ワーク・グループワークの流れについて（案）

○集合時間

13:00 ~ 総合司会，GW 司会，懇親会司会，多職種連携研修作業部会メンバー
順次，ファシリテーターと各グループの司会者との顔合わせ

○ファシリテーターのペア

- ペア① 鹿角様，京谷様
- ペア② 阿部様，橋浦様
- ペア③ 川村様，白川様
- ペア④ 齋藤様，益井様
- ペア⑤ 室田様，山上様

○役割分担

総合司会 水越様

GW 座長 松野様（ツール部会メンバー）

懇親会司会 阿部様（総合司会サポート）

会場誘導係 4名 川村様，京谷様，白川様，橋浦様

マイク係 3名 鹿角様，室田様，山上様

カメラ係 2名 齋藤様，益井様

○ファシリテーターから各グループの司会へ渡してもらう物

- ・ファシリテーターとグループ司会者との顔合わせ
- ・司会用の「グループワーク進行上のお願い」
- ・グループワークのルール

個人ワークの進め方

○個人ワークのねらい

- ・本人としても支援者の立場としても ACP のことを考えることができる

○個人ワークの内容

- ・『もしもノートはこだて』のステップ1～4迄を実際に自分事として考えて、もしもノート記入シートに書いてもらう
- ・もしもノート記入シートの裏面には、もしもノートはこだての各項目をやってみての（１）感想、（２）患者・利用者とのように対話するかを書いてもらう

※聴講のみの方も個人ワークを行ってもらおう

グループワークの進め方

○グループワークのねらい

- ・もしもの時のために本人の思いをどのように聞き取りすると良いのかを考える
- ・多職種による発想や気付きの違いを知る
- ・明日からでも自分たちができそうなことを考える

○グループワークの内容

- ・（テーマ1）感想
（個人ワーク（1）について、シンポジストの話しを聞いての気づき等）
- ・（テーマ2）明日から自分たちができそうなこと
（個人ワーク（2）について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等）
- ・上記のテーマ1・2について司会者を中心に進行してもらい、書記が模造紙に記入する
- ・発表グループは、テーマ1・2及び質問があれば話してもらう

○多職種でのメンバー構成、各グループに司会者をあらかじめ設定する

○グループワーク参加者～●●●名（●人掛け×●●テーブル）

○タイムテーブル

15:15 (5分)	<p>①ロールプレイ動画、個人ワーク、グループワークの流れの説明：松野様 ②グループ内での自己紹介をするにあたっての説明</p> <p style="text-align: right;">： 1～2分程</p> <p><各グループ内、自己紹介>：4分（1人20～30秒程度）</p> <ul style="list-style-type: none">・自己紹介（所属先、職種、氏名）・松野様が引いたサイ五郎さんのカードに書いてある質問について一人一言ずつ話してもらう
15:20 (10分)	<p><ロールプレイ動画（視聴）>：10分（視聴前の説明：松野様）</p> <ul style="list-style-type: none">・出演者紹介（支援者役：宮城様／本人役：室田様）・動画は、もしもノートはこだてに沿って聞き取りしていることを伝える
15:30 (10分)	<p><個人ワーク>：10分（個人ワークの説明：松野様）</p> <ul style="list-style-type: none">・個人ワークの手順を説明＊「もしもノート記入シート」は回収しないことを伝える＊グループワークに参加する人は、「もしもノート記入シート」の裏面にある（1）と（2）をグループの中で共有することを伝える

<p>15:40 (45分)</p>	<p><グループワーク>：45分（グループワークの説明：松野様）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会は、予め事務局で決めさせてもらっていることを伝える ・書記、発表者を決めてもらう ・テーマの説明 ・先に個人ワークで考えたことをそれぞれ報告しながらグループワークしていくことを伝える ・グループワーク開始 ・（テーマ1）感想 （個人ワーク（1）について、シンポジストの話しを聞いての気づき等） ・（テーマ2）明日から自分たちができそうなこと （個人ワーク（2）について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等）
<p>16:25 (30分)</p>	<p><グループワーク発表・意見交換～総評>：30分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に打ち合わせた順番で発表。詳しくは、（発表グループの選定を参照） ・発表内容は、テーマ1・2及び質問 岡田先生の進行で、発表内容に対し各シンポジストからコメントをもらう ・意見交換 この場で是非聞きたいという質問のある人に挙手してもらい、その質問に各シンポジストからコメントをもらう ・総評 座長：岡田先生 各シンポジスト：川口先生、山崎先生、保坂様、松野様 <情報共有ツール作業部会からのお知らせ> ・亀谷様からサマリーのマイナーチェンジについて説明してもらう

○模造紙と模造紙半分の用紙のイメージ

- ・模造紙には、（テーマ1）、（テーマ2）について記入する。
- ・模造紙半分の用紙には、シンポジストや座長に聞きたいことを記入する。

<模造紙>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">「地域でつなげよう ACP の輪～この地域での ACP 連携を目指して～」</div>	
<p>（テーマ1）</p> <p>感想（個人ワーク（1）について、シンポジストの話しを聞いての気づき等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<p>（テーマ2）</p> <p>明日から自分たちができそうなこと（個人ワーク（2）について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・

<模造紙半分の用紙>

<p>質問用紙</p> <p>シンポジスト、座長に是非、聞きたいことがありましたら、こちらに記載してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・

○ファシリテーターの役割

【テーマ1】止まっているグループ，または発言ができていない人がいたら介入

- ・個人ワークを実施してみてどうだったか（感想），講演を聞いての率直な感想を引き出す。（感じたこと，心にグッと響いたこと等）
- ・こんな感想で良いのか？と思うようなことでも発言の機会をもってもらおう。

【テーマ2】止まっているグループ，または発言ができていない人がいたら介入

- ・もしもノート記入シートの裏面にある（2）でどのように考えたか
- ・明日からでも自分たちができそうなことは何かを考えられるようどんな事だったら始められるのか，明日からできることに限らず，少し先（将来）に向けてできそうなことでも良いので話してもらえるように促す。
（どんな場面で意識的に利用者や患者と関わって本人の想いを聞けるか，ACPについての勉強会を職場で行ってみる，もしもノートはこだてやサマリーの応用ツール^⑱の活用等）
- ・今，自分たちができていることに気づく機会でもある事を伝える。（例えば，患者又は利用者とは何気ない会話の中に本人の想いが隠れている，それらをもう既に聞いていることもあるはず，それをこの先，どう次のアクションにつなげるか等）
- ・職種によっては経験の無い場面の話が出て参加できるように声掛けする。
（他の人の話を参考にイメージを膨らませてディスカッションに入ってもらおうよう促す）

【全体として気をつける事について】

- ・感想は個人が思ったり考えたりすることであるので，その感想に批判や批評，指導をするような発言があった場合は適切に介入する。
- ・専門用語のレクチャーなどが長く続くような状況があった場合は適切に介入する。（「そろそろテーマのディスカッションに戻りましょうか」「その話題（疑問）で聞きたいことが出た場合は，全体の意見交換の時間に確認してみてくださいはどうでしょう」等）
例）身体に負担がかかる治療とは
 - ・点滴・中心静脈栄養・経管栄養・胃瘻・昇圧剤，強心剤・輸血・人工透析・人工呼吸
 - ・気管挿管・気管切開・人工呼吸器・除細動・心臓マッサージ
- ・特定の人が話し続けるという状況があった場合は適切に介入する。
- ・特定の職種・事業所等の批判や批評にならないように配慮する。

【発表グループの選定】

- ① ファシリテーター●～●人がペアになってもらい●～●グループを担当します。
- ② 各担当グループのうち、ねらいに沿った話ができているグループや、ぜひ全体で共有したいと思われるグループをペアのファシリテーターと相談して1グループを選定する。
- ③ 16:15（グループワーク終了10分前位）になったらファシリテーター席に集まり、選定グループを報告（全5グループになる予定）
- ④ ファシリテーターと座長、センター間で相談して、発表してもらう順番を決める。（時間があれば全5グループ、時間がなければ3グループ程度）

※全体で共有した方が良くと思われる質問等があった場合は、意見交換の場面で対応する旨を伝え、発表に当たったグループは、シンポジスト、座長に聞きたいことについても話してもらう。当たらないグループは、後日センターのホームページにて掲載する旨伝える。

【見 本】

○ファシリテーター

ペア： _____

選んだグループ番号： _____

選んだポイント： _____

グループワーク進行上のお願い

○ファシリテーターと司会者との顔合わせ

- ・各グループを担当するファシリテーターがいます
- ・司会者が進行する中で困ったらファシリテーターへ声を掛けてください。

○テーマ

(テーマ1) 感想

(個人ワーク(1)について、シンポジストの話しを聞いての気づき等)

(テーマ2) 明日から自分たちができそうなこと

(個人ワーク(2)について、心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等)

○タイムテーブル

15:15 (5分)	<各グループ内、自己紹介> : 4分 (1人20~30秒程度) ・自己紹介(所属先, 職種, 氏名) ・司会者の松野様が引いたサイ五郎さんのカードに書いてある質問について一人一言ずつ話す
15:20 (10分)	<ロールプレイ動画(視聴)> : 10分
15:30 (10分)	<個人ワーク> : 10分
15:40 (45分)	<グループワーク> : 45分 ・書記, 発表者を決定する ・司会者の進行のもと, 先に個人ワークで考えたことをそれぞれ報告しながら(テーマ1)と(テーマ2)についてグループワークする ・書記は同じような意見をまとめたり, 追加で出た意見等を模造紙に追記する
16:25 (30分)	<グループワーク発表・意見交換~総評> : 30分 ・座長進行のもと発表グループに選ばれた場合は, (テーマ1)と(テーマ2)ともし質問があった場合は, それも合わせて発表する ・発表グループに選ばれなかったグループも質問がある場合には挙手する

○グループワークの進行について *別紙「グループワークのルール」参照

- ・グループ内で話しやすい雰囲気となるように別紙「グループワークのルール」に記載されている内容を参考にして進めてください。常にこのルールを意識できるようにテーブルの上に置いてもらったり, 口頭で伝えたりしてください。
- ・グループ内で1人の方が話し続けているようであれば声掛けをしてあげてください。(「そろそろテーマのディスカッションに戻りましょうか」「他の方のご意見も聞いてみましょう」等)

○模造紙と半分の模造紙について

- ・模造紙には, (テーマ1)と(テーマ2)について書記に記載してもらいます。
- ・半分の模造紙には, シンポジスト, 座長に是非, 聞きたいことがあった場合に記載してもらいます。

グループワークのルール

○グループワークを円滑に進めるために下記のことを心掛けましょう。

テーマに沿って話しましょう

話が脱線しても

必ず（テーマ1）と（テーマ2）に戻りましょう

みんなで話しましょう

「こんな事話していいのかな」と思わずに

どんどんお話してください

経験の有無に関係なく

イメージしてみましょう

もしも自分だったら、自分が支援する

としたらなどを想像してみましょう

批判・否定しないように

しましょう

グループ内の人の発言にネガティブな

判断をしないようにしましょう